

真核生物RNA-seq用total RNAサンプルのご用意について

サンプルのご用意についてご説明させていただきます。

1. サンプルのご準備

Total RNAは、下記のサンプル要件を満たす状態に調製してお送りください。
下記のようなRNA抽出試薬・キットまたはそれに準ずるものの使用をおすすめします。

- Trizol (Thermo Fisher Scientific), ISOGEN (ニッポン・ジーン) 等のRNA抽出試薬
- RNeasy Mini Kit (QIAGEN), ISOSPIN Cell & Tissue RNA (ニッポン・ジーン)等のRNA抽出キット

<Total RNAサンプル要件（推奨値）>

定量はQubitなどのRNA特異的蛍光色素を用いた方法を推奨いたします。Nanodrop等吸光度で測定された値の場合、DNAや遊離核酸の値が測定値に含まれることでRNA濃度が高く見積もられる可能性があるため、QCやライブラリ調製に影響を与える可能性があります。

総量	1 µg 以上
液量	20 µL 以上
濃度	50 ng/µL 以上
純度	OD260/280 = 1.8 - 2.2 ; OD260/230 >= 1.8

<重要：サンプル品質についての注意事項>

サンプル品質が十分でない場合、解析の中断・納期の遅延などの可能性があります。各項目をよくお読みいただき、十分に注意してサンプル調製を行っていただくようお願いいたします。

- 基準に満たない（RNA濃度が薄い）場合はエタノール沈殿などで濃縮し、50 ng/µL以上に調整してお送りください。
- DNAの残留があると解析に影響を及ぼす場合がありますので、DNase処理の実施を推奨いたします。
- 比較するサンプルは必ず同じ方法で調製してください。
- タンパク質や有機溶媒等が混入しないようお願いいたします。
- サンプルは**RNase free waterへの溶解を推奨いたします**。低濃度のEDTAの場合、TEバッファームもご使用可能です。また、**ラボで調製されたDEPC水は推奨しておりません**（品質にばらつきのある可能性があるため）。
- 電気泳動またはBioAnalyzer/Tapestationでの測定により、サンプルの分解がないことと、DNAの混入がないことをご確認いただくことを推奨いたします。
- BioAnalyzer/TapestationによるRNA Integrity Number（RIN値）は、7.0以上を推奨いたします。18S及び28Sのピーク（バンド）が明瞭で、18Sより小分子側に大きなピークがないこと、28Sの前後に不明なピークがないことをご確認ください。
- QC後受入基準値に満たない場合は、サンプルの再送付や再精製、DNase処理（有償）をご提案する場合があります。
- QCが3回以上になる場合は追加料金が発生することがあります。
- 純度・分解度については、シーケンス前にクオリティチェックを行い、結果をご報告いたします。クオリティが要件を満たさない場合には、再度サンプルのご送付をお願いする場合があります。

2. サンプルフォームのご入力、ご提出

- サンプルフォーム (Excelファイル) に必要事項を記入し、担当 (研究開発部・営業部) または下記アドレスへメールにてご送付ください。
customer-service@rhelixa.com
- サンプルフォームと、サンプルチューブの記載は必ず一致させてください。
- サンプル名は下記のルールに沿ってご記載ください。
 - > 混同しにくい、単純かつ固有のもの
 - > 15文字以内
 - > スペースは不可
 - > サンプル名の先頭は数字不可
 - > 記号は_(アンダーバー)のみ使用可

【記入例】

RNA-seq用サンプルフォーム (total RNA)

■ お客様情報

ご所属	レリキサ研究所
(ふりがな) ご氏名	れりかさ たろう 令理草 太郎
e-mail	xxx@rhelixa.com

■ サンプル情報

サンプル	total RNA	
溶媒	水	
確認項目	お送りいただくサンプルは臨床検体ですか？	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ

- ※ ヒト臨床サンプルの場合は、必ずお客様ご所属施設の倫理委員会等で承認され、匿名化された状態で検体を提供頂くようお願いします。
- ※ サンプル名は15文字以内の半角英数字および"_"記号を使用して頂くようお願いいたします。
- ※ ABS指針に該当する検体は適切な手続きがお済みでない場合、お受けできませんのでご注意ください。
- ※ 下表のサンプル名とチューブに記載されたサンプル名が必ず一致するようにしてください。
- ※ 記入欄が足りない場合は行を追加してご記入ください。

サンプルNo.	サンプル名※	濃度 (ng/μL)	液量(μL)	OD260/280 OD260/230	生物種 学名(英語)でご記入を お願いします
1	test_1	65	20	1.8 、 1.9	mouse
2	test_2	52	20	1.9 、 1.8	mouse
3	test_3	60	20	1.9 、 2.0	mouse
4	cont_1	70	20	1.8 、 2.1	mouse
5	cont_2	51	20	2.0 、 1.8	mouse
6	cont_3	55	20	1.9 、 1.9	mouse
7					

3. サンプルのご送付

サンプルは、**十分量のドライアイスと同梱した上で**、冷凍便にて下記住所へご送付ください。
 ※ 冷凍便であっても輸送中に屋外を経由することがあり、ドライアイスが少ない場合にサンプルが融解する可能性がございます。輸送中の融解について、弊社では保証いたしかねますのでご了承ください。

・同梱物リスト

- サンプルチューブ
- ご記入済みサンプルフォーム
- ドライアイス (目安量は下記)
- 必要があれば緩衝剤

・梱包方法 (詳細は下記をご覧ください)

- **1.5 mLチューブ**に分注
- 発送前に**十分冷凍しておく**
- **フタをしっかりと閉め、パラフィルムで保護**
- ボックスや50 mLチューブにチューブを入れ、**サンプルをドライアイスに接触させない**
- **平日午前10時~午後18時到着指定**でご発送
- **到着日**のご連絡

・ドライアイスの目安

輸送時間	ドライアイス量
30時間以内	3~4 Kg
2日	6~7 Kg
3日~5日	8~10 Kg

・梱包例



輸送事故防止およびサンプル受け取り準備のため、サンプル発送前に**発送予定日を必ずご連絡ください**。配達指定は営業日中の午前10時から午後18時到着の間でご指定ください。また、サンプル発送後、**メールにて到着予定日・運送会社名・追跡番号をお知らせください**。

<サンプル送付先>

〒101 - 0061

東京都千代田区神田三崎町2-2-14 BRICK GATE 水道橋 2F

株式会社Rhelixa 研究開発部 宛て

TEL : 03 - 6240 - 9330

サンプル受付時間：平日10時~18時

- サンプルは**1.5 mLチューブ**に分注してください (0.5 mL、0.2 mLのPCRチューブは輸送、保管には不向きです。おそれいりますが、ご使用されないようお願いいたします)。
- サンプルは必ず**十分冷凍したものを**お送りください。
- 貴重なサンプルは予め分取し、**一部をお手元に残していただくよう**お願いいたします。
- サンプル分注後、**チューブのフタをしっかりと閉め、パラフィルムで保護してください**。
- 輸送中のサンプルチューブの破損を防止するため、**チューブボックスや50 mLチューブ等にサンプルチューブを入れ、ドライアイスと直接触れ合うことのないようにしてください**。緩衝材でチューブを包むだけですとヒビや割れの原因となります。目視では確認できないヒビも遠心等の際に割れる原因となりますのでご注意ください。
- 誠に勝手ながら、**土日祝日のお受け取りはいたしかねます**。また、輸送時間が長くなることを避けるため、**金曜日・祝前日の発送はご遠慮させていただいております**。
- 恐れ入りますが、**輸送運賃はお客様でご負担いただきますよう**よろしくお願いいたします。

4. 注意事項

1. 「国立感染症研究所病原体等安全管理規程」に準じて、ヒトに対する病原性がバイオセーフティーレベル2以上、または2以上を疑われるサンプルの受付に関しては必ずお問い合わせ下さいますようお願いしております。
「国立感染症研究所病原体等安全管理規程」
https://www.niid.go.jp/niid/images/biosafe/kanrikitei3/Kanrikitei3_20200401.pdf
https://www.niid.go.jp/niid/images/biosafe/kanrikitei3/Kanrikitei3_2020101-1.pdf
2. 弊社では感染性のある検体、感染している可能性のある検体、一部感染性生物由来の核酸の取り扱いができません。十分に不活化されたことが証明できる検体についてはお受けできる場合がありますので、必ず事前にお問い合わせください。
3. 弊社従業員の安全確保が難しいと判断される検体は、お受けできない場合があります。
4. ヒト臨床サンプルの場合は、必ずお客様ご所属施設の倫理委員会等で承認され、匿名化された状態で検体を提供頂くようお願いいたします。
5. ABS指針に該当する検体は適切な手続きがお済みでない場合、お受けできません。
6. 自己増殖能のある形質転換体、または、形質転換に用いたウィルス等を含む検体からの核酸抽出等の作業はお受けできません。
7. ご提供頂いた検体の情報について虚偽、錯誤、または感染性等の可能性を隠匿していた場合、これにより生じた損害または法的責任については、お客様が負うものとさせていただきます。
8. RNAの品質管理には万全を期しております。クオリティチェックに問題があった場合には、弊社到着前に分解や不純物の混入があると考えられますので、予めご了承ください。
9. 輸送時のトラブルに関して、弊社はその責任を負いかねます。
10. 細心の注意を払いお客様の検体を取り扱いますが、試薬や機器の不具合、人為的な操作ミスにより実験結果に不具合が生じた場合は、当社負担により再実験をおこないます。
11. 受注後、実作業に入ってからキャンセルはサービスの仕様上お受け致しかねます。やむを得ない場合は実作業分の料金をご請求させていただきます。
12. お預かりしたサンプルは、納品検収後、3ヶ月を目処に事前承諾なしに廃棄する場合があります。検体のご返却の希望を頂いた場合は、ご返却に係る費用をお客様にご負担頂きます。予めご了承ください。
13. 本受託サービスは、すべて研究目的のために使われることを前提として実施しております。本受託サービスの解析結果を研究目的以外へご使用された場合、これに起因する損失・損害等については、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

✕